学校番号	1202

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ａ　現代からの歴史（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
・我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって，歴史的思考力を培う
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気付き、関心をもって主体的に学習に取り組めているか。 ・我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き、国家社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしているか。	・我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察しわが国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。	・我が国の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしているか。	・我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けているか。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 レポート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代	・近代国家の形成 国際情勢の変化と明治維新 明治新政府の諸改革 立憲国家の成立 ・東アジア世界の変動と日本 日清戦争と近代社会の確立 日露戦争と帝国日本の形成	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:近代国家の特色及び近代国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:近代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、ヨーロッパやアジアとの関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:近代国家の特色及び近代国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択したり読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:近代国家の形成と展開、文化の特色とその成立についての基本的な事柄を、ヨーロッパやアジアとの関係を関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	近代・現代	・二つの世界大戦と日本 第一次世界大戦と帝国日本 政党政治の時代 軍国日本への道 太平洋戦争 ・第二次世界大戦後の国際社会と日本 現代世界の開幕と日本の戦後改革	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:大戦中の日本やアジアについての関心と課題意識を高めている。 b:大戦中の日本の動向から課題を見いだし、アジアとの関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:大戦中の日本やアジアについての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択したり読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:大戦中の日本やアジアについての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
3学期	現代	高度成長の時代 ・現代の世界と日本 国際秩序のゆらぎと経済大国日本 冷戦の終焉と日本	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	 ○ 	a:戦後の日本についての関心と課題意識を高めている。 b:戦後の日本の動向から課題を見いだし、世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦後の日本についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択したり読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:戦後の日本についての基本的な事柄を理解し、世界と関連付けてその知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。